

(2023年9月1日配信)

NHK ラジオ深夜便 9月26日(火) 23時台

出演 豊田 直之 冒険写真家

海が、プラスチックのゴミで汚染されてきている。砂浜には、プラスチックの砂粒。海中は、目に見えないナノ・プラスチック粒。豊田さんは、プラゴミバスターズを立ち上げ、神奈川の海岸を西から一筆書き状に歩き、プラスチックゴミ集めをしている。湯河原から横須賀まで260キロを歩き、2, 5トンにもなった。イルカやウミガメがレジ袋を飲み込み、海岸には、たばこのプラスチックフィルターが点々と、、、歩いてみないと判らない海辺からの報告をしていただいた。

「須恵器 甗 (ハソウ)」について

(2017年8月記)



甗は、古代、大陸から伝えられた(5~6世紀の頃か)須恵器の焼き物です。主に西日本各地の古墳から発掘され、現在では、博物館に展示されています。形は、上部がラッパ状で、底辺部が丸く、丸い部分に穴があります。

甗は古代の人達が何の目的で作り、生活に利用されていたのかは、諸説ありますが、現在、考古学会では、酒器とされています。しかし、酒器であるとするとうづの部分の穴は、なぜあるのか、穴に口を当て息を吹き込むと、不思議な音が出ることから「笛壺」という言い方もあるようで、作家、松本清張は、「笛壺」という小説で取り上げ、息を吹き込むと形や大きさによって音が違いいくつかの甗を吹くと音が共鳴し余韻が残り、興味深いものがあります

847年建立の奈良市の不退寺は、「南都花の寺」とも呼ばれ、歌人で、伊勢物語の主人公である在原業平を祀っています。5月の業平忌では、かつては、甗を吹き鳴らし、その霊を慰め、法要したと伝えられています。